

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2013年3月4日

3月4日(月)にがん進展制御研究所棟 4階会議室において、横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科(木原生物学研究所)東 昌市准教授と宮崎 香教授のお二人を迎え、それぞれ「がん悪性進展に關与するMMP-2およびMMP-7を標的とした高特異性インヒビターの開発」、「がんの悪性進展を支える細胞外マトリックス分子:laminin-332とangiomodulinを中心に」と題して、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、東准教授は、特にアミロイドプリカーサープロテインから同定したMMP-2阻害ペプチドを更に改変したMMP-2特異的阻害分子について講演され、注目を集めました。宮崎教授は細胞外マトリックス分子であるlaminin-332とangiomodulinについてがん細胞の接着・運動の制御メカニズムを中心にご講演いただきました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約30名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



東 昌市 准教授



宮崎 香 教授

がん進展制御研究所セミナー

◆東 昌市 准教授

横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科（木原生物学研究所）

「がん悪性進展に関与する MMP-2 および MMP-7 を標的とした高特異性インヒビターの開発」

◆宮 崎 香 教授

横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科（木原生物学研究所）

「がんの悪性進展を支える細胞外マトリックス分子：
laminin-332 と angiomodulin を中心に」

3月4日（月） 午後5時—6時

がん進展制御研究所4階 会議室

横浜市立大学木原生物学研究所の宮崎研究室は細胞外マトリックス成分およびそれらを分解するプロテアーゼについて、特にタンパク化学的な手法によりユニークな研究をされています。同研究室の最新の知見を御講演いただきます。

（細胞機能統御：佐藤 6710）